

第24回分子予防環境医学研究会大会 プログラム

1日目(3月1日)

12:00～ 開場・受付開始

12:55～13:00 開会の挨拶

13:00～13:45 一般演題1 (発表12分+質疑応答2分+交代1分: 3演題45分)

(座長) 平工 雄介 (福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学分野)

1. メタロ β ラクタマーゼ IMP-1 および VIM-2 の菌体外放出と周囲の細菌に与える影響
福嶋 理香 (熊本大学大学院生命科学研究部 微生物学講座)
2. クロミプラミンによる COVID-19 治療効果のメカニズム解析
加藤 百合 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野)
3. SARS-CoV-2 感染における超硫黄分子の生体防御機構の解明
守田 匡伸 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

(5分休憩) 13:45～13:50

13:50～14:50 特別講演1 (発表+質疑応答60分)

(座長) 赤池 孝章 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

「変異ミトコンドリア特異的マイトファジー誘導による疾患治療、予防の可能性」

永瀬 浩喜 (順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学 難病の診断と治療研究センター 客員教授)

(10分休憩) 14:50～15:00

シンポジウム演題

(座長) 澤 智裕 (熊本大学大学院生命科学研究部 微生物学講座)

15:00～17:15 「生体と金属を毒性学から理解する」 (発表25分+質疑応答4分+交代1分: 4演題120分; Hot topics 発表12分+質疑応答3分)

1. 生体における鉄利用と毒性: in vivo でのフェロトーシス研究から
諸石 寿朗 (熊本大学大学院生命科学研究部 分子薬理学講座、東京科学大学難治疾患研究所 細胞動態学分野)
2. バイオ鉄研究に関する最近の進展
豊國 伸哉 (名古屋大学大学院 医学系研究科 生体反応病理学)

3. メチル水銀毒性に対するセレン/セレノプロテインの機能とその意義—水俣病患者由来試料から得られた新たな知見
斎藤 芳郎 (東北大学大学院薬学研究科 代謝制御薬学分野)
4. 生命金属の超硫黄分子を介した心機能調節
西田 基宏 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野、自然科学研究機構生理学研究所 (生命創成探究センター) 心循環シグナル研究部門)
5. (Hot Topics) Longevity regulation via sulfide:quinone oxidoreductase (SQR)-dependent energy metabolism in yeast
Meg Shieh (Department of Chemistry, Brown University)

(5分休憩) 17:15~17:20

17:20~18:20 特別講演2 (発表+質疑応答: 60分)

(座長): 松島 綱治 (東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門)

「PFASとはなにか? どう立ち向かうのか?」

小泉 昭夫 (公益社団法人 京都保健会 社会健康医学福祉研究所、京都大学名誉教授)

18:20~懇親会会場へ移動

18:30~20:30 懇親会 (医学部南地区 楷樹会館 MEDICO)

2日目 (3月2日)

8:30~ 開場

9:00~10:00 若手発表演題1: 腫瘍・炎症 (発表9分+質疑2分+交代1分: 5演題 60分)

(座長) 居原 秀 (大阪公立大学大学院 理学研究科 生物化学専攻)

及川 伸二 (三重大学大学院医学系研究科 環境分子医学)

1. 膠芽腫の境界部における画像診断学的・病理学的・分子学的評価の関連
井上 博貴 (東京大学衛生学/熊本大学脳神経外科)
2. 単一細胞解像度で考える悪性胸膜中皮腫の腫瘍内不均一性
末吉 国誉 (東京大学大学院医学系研究科 衛生学教室)
3. 腹膜中皮細胞に対する抗炎症性サイトカインの影響の検証
伊藤 智哉 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野)

4. Attempts to induce in vitro neutrophils characteristic of SLE, focusing on BAFF expression patterns and neutrophil extracellular traps (NETs) formation

Zirui Zeng (University of Occupational and Environmental Health, Japan) (曾子芮)

5. ケモカイン受容体制御分子 FROUNT 阻害剤ジスルフィラムの吸入製剤 FN-01 は特発性肺線維症の新規治療薬になりうる

田邊 尚亮 (東京理科大学生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門)

(10分休憩) 10:00~10:10

- 10:10~10:58 若手発表演題 2 : 生理活性物質・超硫黄分子 (発表 9 分+質疑 2 分+交代 1 分 : 4 演題 48 分)** (座長) 西田 基宏 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野)

酒井 敏行 (京都府立医科大学創薬センター)

6. 2-オキソカルノシンのカルノシン分解酵素に対する分解抵抗性とその血中安定性および抗酸化活性への寄与

小前 奏明 (大阪公立大学大学院理学研究科 生物化学専攻)

7. 呼吸・空間オミックスによる超硫黄代謝変動解析

緒方 星陵 (東北大学大学院 医学系研究科 環境医学分野)

8. 超硫黄触媒酵素アルコールデヒドロゲナーゼ 5 による NO シグナル制御機構

JUNG Minkyung (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

9. The function of sulfite oxidase in mitochondrial supersulfide metabolism

潘 玥璇 (Pan Yuexuan) (Dept. Environ. Med. Mol. Toxicol., Tohoku Univ. Grad. Sch. Med.)

(7分休憩) 10:58~11:05

- 11:05~12:35 一般演題 2 抗炎症・超硫黄分子 (発表 12 分+質疑応答 2 分+交代 1 分 : 6 演題 90 分)**

(座長) 斎藤 芳郎 (東北大学大学院薬学研究科 代謝制御薬学分野)

守田 匡伸 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

4. ポリスルフィド化ジスルフィラムの合成と抗炎症作用

新留 琢郎 (熊本大学大学院先端科学研究部 医工学部門)

5. Pharyngeal aspiration of multi-walled carbon nanotubes induces acute pulmonary inflammation in wild-type but not Nrf2 null mice

市原 学 (東京理科大学薬学部 環境労働衛生学)

6. NLRP3 タンパク質超硫黄化による環境刺激応答
張 田力 (秋田大学感染統括制御・疫学・分子病態研究センター)
7. 環化超硫黄分子の生体内大量生成とミトコンドリアエネルギー代謝機能の解明
松永 哲郎 (秋田大学感染統括制御・疫学・分子病態研究センター)
8. 超硫黄およびセレン修飾タンパク質のプロテオーム解析法の開発
高田 剛 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)
9. 超硫黄分子による出芽酵母の寿命制御
吉武 淳 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

12:35~13:20 総会・昼食 (弁当配布)

13:20~14:05 一般演題3 DNA 損傷・腫瘍 (発表 12 分+質疑応答 2 分+交代 1 分: 3 演題 45 分)
(座長) 石川 俊平 (東京大学 大学院医学系研究科 衛生学分野)

10. 天然ポリフェノール Salvianolic acid B による DNA 損傷機構
小林 果 (三重大学大学院医学系研究科 環境分子医学)
11. セルベーススクリーニングを用いた新規がん予防標的 GGCT 阻害剤としての plumbagin の同定
谷口 恵香 (京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学)
12. CRP/CD64 が腫瘍関連マクロファージ (TAM) の腫瘍促進性を誘導する作用により腎細胞がんの進行に寄与する
潘 程 (熊本大学大学院生命科学研究部 細胞病理学講座)

(5 分休憩・授賞式準備) **14:05~14:10**

14:10~14:30 授賞式

14:30~ 閉会の挨拶